

育つ仕掛けは「場」「手法」
「視点」でつくる。
組み合わせの可能性は無限大」。

自己紹介

神部 愛 Ai Kanbe

有限会社おきなわ教育ラボ 取締役

一般社団法人 グローカル教育センター 代表理事

キャリア教育コーディネーター

沖縄県立高校で12年間キャリア教育コーディネーターとして
高校のキャリア教育に携わる。

沖縄県教育委員会主催事業「進学エンカレッジ推進事業」

「国際性に富む人材育成事業グローバル・リーダー育成事業」等
高校生の県外大学進学や海外留学等の研修デザイン・講師を務める。

第11期中央教育審議会臨時委員、「キャリア教育指導者研修会講師
(令和元年～5年) 等





これまでのキャリア教育取り組み



キャリア教育コーディネーター配置事業



キャリア教育コーディネーターの役割



具体的な取り組み内容について



研究指定校3年間の実践事例



これまでのキャリア教育取り組み

社会教育による地域の教育力強化プロジェクト事業
キャリア教育マネジメント事業
高校生等のキャリア形成支援プログラム事業
うりずんプロジェクト「沖縄型」インターンシップの展開
「地域キャリア教育支援設置促進事業」
那覇市就業意識向上支援事業
キャリア教育推進事業
地域連携プラットフォーム事業
今帰仁村就業意識向上支援事業
進学カグレードアップ推進事業
キャリア教育支援事業
子ども未来応援事業
「海外サイエンス短期研修事業」
「専門高校生国外研修」
「沖縄県高校生海外雄飛プログラム」
進学エンカレッジ推進事業

2013年



2024年

約50,000人





キャリア教育コーディネーター配置事業

キャリア教育コーディネーターを9年間沖縄県立
高等学校に常勤配置

その後、20校を対象にキャリアコーディネーターが
沖縄県立高等学校をサポート

キャリア教育マネジメント事業（7校）H24～H26

キャリア教育支援事業（5校）H27～H29

キャリア教育推進事業（2校）H30～R2

キャリア教育推進事業（20校）R3





キャリア教育コーディネーター配置事業

高等学校卒業時の**進路決定率を向上させる**ため、高等学校におけるキャリア教育を推進する。特に普通高校における各教科の授業やホームルーム活動等の教育活動全体を通してキャリア教育を拡充する。

- ・学校ニーズの把握
- ・キャリア教育プログラム案の開発及び提案・改良
- ・キャリア教育プログラムの効果測定



- ・キャリア教育プログラム実施にあたっての学校／地域資源（外部講師）との調整
- ・キャリア教育プログラム実施までのその他の調整と進行管理、実施当日の支援



キャリア教育コーディネーター配置事業

進路状況における沖縄の課題

(1) 「進路未決定率の改善」

令和4年3月卒業生…沖縄県11.2% (全国4.4%)

(2) 「進路決定率の向上」

令和4年3月卒業生…沖縄県88.8% (全国95.6%)

(3) 「大学進学率の向上」

令和4年3月卒業生…沖縄県44.6% (全国59.5%)





キャリア教育コーディネーター配置事業

沖縄県キャリア教育の基本方針



沖縄県教育委員会

令和2年度キャリア教育支援事業
「キャリア・パスポート」実践事例集

ReviewBook

学びのプロセスが見える!「キャリア・パスポート」で未来につなぐ



沖縄県教育庁県立学校教育課



学ぶ意欲の向上
→ **学びと実社会の繋がり**
→ **学ぶ意義の確認**



今の学びや努力と社会・仕事に轍を作る



キャリア教育コーディネーター配置事業

各学校・生徒の実態にあわせたプログラム

1. 学校

ニーズ調査をもとに
各指定校に求められる
支援を行う

- 校内でのキャリア教育ベーシックセミナーを実施
- 各教科別のキャリア教育プログラムを作成するワークショップを実施
- 月1回のキャリア教育通信による具体的な事例などの提示

成果の出る
キャリア教育の
実現

2. コーディネーター

実績ある研修で
コーディネーターを育成
蓄積したノウハウをもとに
密な支援体制も構築

3. 研修

弊社ネットワークを生かし
多様な講師から選定可能
ニーズに合わせた
研修内容を構築する

学校・社会・教育プログラムの3つのポイントを抑えて、成果の出るキャリア教育の実現を図り、本事業目標に掲げている「本格的なキャリア教育推進」を目指す



キャリア教育コーディネーター配置事業

ポイント1

サポート企業の更なる開拓、商工会や地域協議会との連携



地域社会への理解促進

学校のニーズ把握

キャリア教育に必要な地域資源の把握

キャリア教育プログラム案の提案

学校や生徒・児童等の実態に即したキャリア教育プログラム案への改良

キャリア教育プログラムの実施にあたって教育支援人材との調整

キャリア教育プログラムの実施までのその他の調整と推進管理

キャリア教育プログラム実施
当日の支援

キャリア教育プログラムの効果測定

キャリア教育プログラムの実施後の振り返り・フォローアップ

ポイント7

「事前事後アンケート」により計画的な効果測定を行う



ポイント6

OB.OGネットワークで各校での先輩と語る会を実施

教職員に対する理解促進

ポイント3

学校ニーズの高い「特活・総探・全教科のプログラム」を開発

ポイント4

具体的実践を促すための「教員研修」の実施、教科別も対応

ポイント5

月1回の「キャリア教育通信」で教職員の理解を啓発

生徒・教職員に対するキャリア教育への「意識調査」を実施



キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント1】各学校・生徒の様子を見える化

①事前・事後アンケート

職業観や「自己理解」の意識の変容、深化を調査

- キャリア教育を通して、「働くこと」「職業観」についてどう意識が変化したのか知る
- 生徒にとって学びのある授業だったのか授業を構築することができたのかを分析・改善につなげる

②各取組ごとのアンケート

キャリア教育で身につける具体的能力の変容で調査

自分の変化・成長気づくことで次の行動に意欲的に取り組むことができる。

③計画的な効果測定

評価検証委員会との連動で、成果を検証する

あなたは「自己の変化・成長」に関してどのように感じていますか？以下の 5～10 のそれぞれの質問項目についてどのように感じますか、それぞれについて 1～5 の表を基に番号を一つに□をつけてください。

項目	1	2	3	4	5
31. いろいろな多様な働き方や生き方について話を聞いたことがある					
32. いろいろな多様な働き方や生き方について理解が深まった					
33. いろいろな多様な働き方や生き方について、自分の生きかたを思い返したことがある					
34. 自分の興味・関心があるものが見つかった					
35. 自分の得意・不得意、やりたいことを将来に向けて考えることができた					
36. 自分が将来やりたいとありたい自分を想像できる					
37. 自分の得意なこと好きなことを仕事にできると考えている					
38. 自分が将来やりたいことを家族や友人に話したことがある					
39. 学校での学びや経験上、「将来の自己」を想像できて考えたいと思っている					
40. 自分の「将来のたい夢」を実現するために、自分なりに行動をしている					
41. 自分の「将来のたい夢」を実現するために、自分なりに努力している					
42. 自分の「将来のたい夢」を実現するために、困難と向き合い克服している					
43. 自分の「将来のたい夢」を分かっている					
44. 自分の「将来のたい夢」を					
45. これまで自分が目指していた					
46. 自分の生きかたをイメージでき					
47. ありのままの自分を受け入れ					
48. 「夢」と「自己」の両方について					
49. 将来の「自分の生きかた」を					
50. 社会に対して貢献が期待でき					
51. 社会に対して貢献を期待し					
52. 自分以外の社会の					
53. 自分以外の社会の					
54. 道中(社会)を形成して					
55. 「仕事」や「社会」を中心					
56. 自分自身、社会を形成					
57. 自分だけでなく社会を					
58. 自分が将来、道中(社会)を					
59. 自分が社会貢献・貢献する					

項目	受講前	受講後	自分が思う変化・成長のポイント	
【A】活動力	3	4	① 発声 あまり何も考えず動いていたが、行動が活発になり、自分だけでなく周囲の人にも声をかけたり、意見を述べたりすることができるようになった。 ② 自信 人に対して判断するのではなく、自分がどうしたいかを考え、自分で判断できるように努力することができた。 ③ 経験 自分の興味のある分野だけでなく、他の分野でも積極的に参加することができるようになった。	
	【B】基礎	3	5	④ 自信 自信が持てず動けなかったが、自分で判断することができるようになった。 ⑤ 経験 自分の興味のある分野だけでなく、他の分野でも積極的に参加することができるようになった。
		【C】発信力	2	4
【D】発信力			1	3
	【E】判断力 総合評価		2	4



キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント2】各学校・生徒の実態にあわせたプログラム

推進のポイント

実践事例 — 高校キャリア教育 —

活用時間 リーディング倶楽部 「名言から考えよう！偉人のアライズ」

実施校名	実施担当学校	学年	実施学年
活用した時間	リーディング倶楽部	時間数	50分×1コサ

課題のねらい（単科の目標）
 学校生活の中で知り得た偉人の名言から名言を題材とした探究活動を行う。
 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。

授業の流れ
 プルーフで偉人名言とその背景を調べ、名言を題材とした探究活動を行う。
 偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。

キャリア教育の目標（キャリア教育の視点）
 探究を通して、学校生活の中で知り得た偉人の名言から名言を題材とした探究活動を行う。
 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。

時期	授業の内容・流れ	学習のねらい	必要な教員・教材
導入 15分	偉人の名言から偉人への敬意を込めて、名言を題材とした探究活動を行う。 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言、偉人のアライズ
展開1 15分	偉人の名言から偉人への敬意を込めて、名言を題材とした探究活動を行う。 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言、偉人のアライズ
展開2 15分	偉人の名言から偉人への敬意を込めて、名言を題材とした探究活動を行う。 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言、偉人のアライズ
展開3 15分	偉人の名言から偉人への敬意を込めて、名言を題材とした探究活動を行う。 また、名言から偉人へ向き合い、偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言から自分自身の生き方、夢や目標について考え、自分自身の生き方を振り返る。	偉人の名言、偉人のアライズ

実践事例 — 高校キャリア教育 —

ゲームと数学の連携授業 「数学とゲームの連携授業」

時期	授業の内容・流れ	学習のねらい	必要な教員・教材
導入 15分	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。
展開1 15分	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。
展開2 15分	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。
展開3 15分	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。	ゲームと数学の連携授業を行う。 また、ゲームと数学の連携授業を行う。

実践事例 — 高校キャリア教育 —

「学習指導要領」を基にしたキャリア教育プログラムの開発

学年	科目	単元	学習指導要領	キャリア教育の視点
1年	国語	「小説」	「小説」の読み取り	小説の読み取りを通して、読者の感情や価値観を考察する。
2年	英語	「英語」	「英語」の読み取り	英語の読み取りを通して、異文化理解を促進する。
3年	数学	「数学」	「数学」の読み取り	数学の読み取りを通して、論理的思考力を鍛える。
4年	総合	「総合」	「総合」の読み取り	総合的な学習を通して、社会性を養う。

プログラム開発①

特別活動・総合的な探究の時間では、3年間を見通した体系的なプログラム

プログラム開発②

学力向上に効果の高い教科のプログラム開発を全教科分ける

プログラム開発③

外部講師活用型・外部講師活用しない型の2つのパターンの開発

教科と社会のつながりを実感し、 その延長にある働き方を知る。

「なぜ勉強しなくてはいけないの?」という問いに対するひとつの答え。勉強がそのまま社会に役立つことがある。

数学(三角関数)

教科と社会のつながりに気づかせる授業 【数学】(三角関数)「ゲームと数学の意外な関係~感覚から論理的に~」

ゲームと数学の意外な関係 ~感覚から論理的に~			
◆実施学校名	知念高等学校	◆対象学年	高校2年生
◆活用した時間	数学Ⅱ	◆時間数	50分×1コマ
◆校長名	榑谷 幸	◆担当教員名	中村 省月
<p>▲ 授業のねらい(本時の目標)</p> <p>●現代では身近な存在であるアプリゲームのプログラミングと数学の関係を知ることで、数学的な関心・意欲が高められ、その学習内容を使っている職業に触れさせるとともに、数学がどのように社会の中で生かされているかを学ぶことを目的とする。</p> <p>▲ 授業の概要</p> <p>●「パターゴルフアプリ」を使って、ゲームに三角関数が使われていることを知る。</p> <p>●学習している数学を使って仕事をしている人がいることを知る。</p> <p>▲ キャリア教育の目標(キャリア教育の視点)</p> <p>●身近なものが学習と結びついていることを感じる。</p> <p>●感覚で物事を判断するのではなく、論理的に思考し自分の考えを深める力を養う。また、自分の考えを他者に正しく伝えるとともに、他者の考えを理解しながら議論する力を育む。</p>			

せ ら め 5 分	<p>★ストーリーテリング</p> <ul style="list-style-type: none"> この仕事についての経緯 プログラミングはどの程度触れたのか。 アプリは無料だがどのような利益を得ているのか。 企業方針「沖縄からコンテンツ発信」の思い 社名の意味 	<p>★キャリアプランニング能力(学ぶこと、働くことの意味や役割理解)</p> <p>★条件に基づきながら、コンセプトと全体の整合性がとれているか?</p> <p>★具体的なアイデア(オリジナルアイコン)があるかを確認していく。</p>

協力企業・団体	<p>▲ 代表者名:株式会社 SEEO(日株式会社デュアルソリューション)</p> <p>沖縄営業所 所長 渡川 浩史</p> <p>所在地:〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1-4-15 泉崎UFビル2F</p> <p>URL: http://dual-sol.co.jp</p> <p>担当者名:システム開発課 課長知花 国洋, 知花 司</p>
コーディネーター	<p>氏 名:比嘉かおり</p> <p>所 属:キャリア教育マネジメント事業(沖縄県教育庁県立学校教育課事業)</p> <p>知念高校 配属コーディネーター</p>

時 間	授業の内容・流れ ○生徒の活動 ★教師の役割 ☆教員が実施 ○生徒の反応	学習のねらい・ キャリア教育の視点	必要な教員・ 教材 ★留意点
導入 の 分	<p>★教諭が授業のねらい・概要を確認。コーディネーターの紹介。</p> <p>コーディネーターから講師(社名・講師名)の紹介。</p> <p>★本時のねらいと仕事内容を自社開発の商品を使って紹介。自社商品をアプリらせてアイスブレイク。</p>	<p>授業のねらいを伝え、数学が社会でどのように活用されているのかをイメージ</p> <p>ゲームと数学の意外な関係</p>	<p>・パソコン6台</p> <p>・プロジェクター</p>
展開 の 分	<p>★流れの説明。</p> <p>○「パターゴルフアプリ」をやってみよう!</p> <p>(グループ:5名×5グループ, 6名×1グループ)</p> <p>ホールインワンをねらうために、グループでアイデアを出し合う。</p> <p>・数学のどのテーマの知識を使えばいいのか。</p> <p>○ボールを入れるためには、芝目の意図と角度を割りだし、三角比を使って距離を計算しホールインワンを狙う。</p> <p>○グループで考えた計算過程と結果をA3用紙に書く。</p>	<p>課題対応能力: 前向きに考える力、進んで学ぶ力とする。</p> <p>数値の数学的側面に着目して課題を数学的に表現し、処理して得られた結果を元の課題に戻して意味を考える。</p> <p>人間関係形成: 社会形成能力: 他者に分かりやすく論理的に伝え、議論する。</p>	<p>○導入では感覚でゲームをしていたが、目的達成のために、仮定テーマを活用して論理的に考えているか。</p> <p>○グループで協力し合って、課題を解決する。</p> <p>・三角比の表</p> <p>・A3用紙6枚</p> <p>・ペン</p> <p>・筆記用具</p>
評価 の 分	<p>○グループの考えと答えを発表。</p> <p>★正解をプログラミング画面で確認する。</p> <p>★計算式(コード)の解説</p> <p>プログラムコードを解説。内部でも三角関数(ラジアンと三角関数)が使用されていることを説明する。</p>	<p>★自分のグループの考え方と他のグループでの共通点・相違点を見つける。</p>	<p>○他者へ理解できるように発表しているか。</p>

普段、何気なく受けている授業が様々な場面で応用して使われていることに驚きました。

高校生の今こそ、将来に必要な勉強をしっかりとやらないといけないと感じました。



自分の将来を考える機会にする授業

単元の内容を工夫することで、自分の将来を考える機会にする

英語

自分の将来を考える機会にする授業 【英語】(偉人の名言から考えよう)「生き方・そしてライフプラン」

偉人の名言から考えよう！生き方、そしてライフプラン

◆実施学校名	慈天閣高等学校	◆対象学年	高校3年生
◆活用した時間	英語(リーディング)	◆時間数	50分×1コマ
◆校長名	奥野雅 由紀子	◆担当教諭名	吉澤 まさ

★授業のねらい(本時の目標)

- 教科書の題材に触れる様々な偉人が読んだ名言を英語で読む活動を行う。
- また、名言から偉人の人生を想像したり、自分の目指す将来像を考えながら、進路における志願理由書や面接時において活用したり、自分自身の将来に役立てることを意識する。

★授業の概要

- グループで1つ好きな偉人とその名言を選んでもらい翻訳する。偉人の名言からその偉人がどんな人生を歩んだかを、ライフラインを用いてダイナミックに想像し作成する。その名言が生まれたターニングポイントを予想しながら、偉人の人生観を発表していく。

★キャリア教育の目標(キャリア教育的視点)

- 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えなどについて、グループで話し合うなどして結論に導いたり、論理的な話し合いを通じて合意できることとできないことについて共通の認識を得る。(人間関係形成・社会形成能力)

時間	授業の内容・流れ	学習のねらい・キャリア教育的視点	必要な教員・教材・★留意点
導入(10分)	<p>○生徒の活動 ★外部講師が実施 ★教科書が活用、★主な生徒の感想</p> <p>★現在学んでいるノーベル平和賞のムハマド・ユヌスに触れながら、世の中には多くの偉人が残してきた名言があることを紹介する。</p> <p>★教科書にある「偉人のことば」(★単元のテーマ・概要を説明)という箇所から、私たちが様々な偉人の名言に触れてきたことを伝える。 (アイスブレイク)・権藤謙吉の名言</p> <p>★権藤謙吉の生涯をライフラインで説明しながら、名言である、「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」が生まれたターニングポイントを想像してみる。</p> <p>○名言に関連された偉人の生きざまを感じ取る。 ○言葉の持つ力強さを感じ取る。</p>	<p>聞くこと/キャリアプランニング能力</p> <p>★これまで学んできた名言を紹介しながら、たくさんの名言に触れたことに気付かせる。</p> <p>★権藤謙吉の生涯年表をライフラインであらわしているが、生徒がこれから作成するライフラインは、想像力を働かせて自由に作成して構わない事を伝える</p>	<p>★言葉の持つ力強さを感じ取る。</p> <p>○名言に関連された偉人の生きざまを感じ取る。</p> <p>○言葉の持つ力強さを感じ取る。</p>
	<p>★①黒板に張られた偉人とその名言を選んでもらい、グループで翻訳してもらう。 - マザーテレサ・レディー・ガガ・ダイアナ王妃・ザ・ビートルズ等</p> <p>★②名言の本訳を各グループに発表してもらう。</p>	<p>話すこと/人間関係形成・社会形成能力</p> <p>書くこと/課題対応能力</p>	<p>★電子辞書の利用も認める。</p> <p>★黒板に張り出されている偉人の名言(写真)をグループで持ち帰ってもらう。</p>

準備(10分)	準備(10分)	準備(10分)	準備(10分)
<p>★偉人のライフラインを作成しよう!</p> <p>○名言から感じ取れる意志や想いを想像しながら、名言が生まれた背景を考えてみる。</p> <p>○名言が生まれたターニングポイントを想像して★印をつけてみる</p>	<p>書くこと/課題対応能力</p> <p>○各グループで名言から導き出した偉人の人生グラフを一枚に黒板に張り出しグループの代表者に発表してもらう。</p> <p>★各グループの発表が終わると偉人の名言の翻訳とどういう偉業を成し遂げた人物が記載されているプリントを配る。</p>	<p>書くこと/キャリアプランニング能力</p> <p>○名言に関連された偉人の生きざまを感じ取る。</p> <p>○ムハマド・ユヌスの言葉を提示</p>	<p>★黒大ワークシート「人生グラフ」を配布。グループワークに取りかかる</p> <p>★ライフラインの正確を求めているのではないことを伝える。(自由に書くことが大事)</p> <p>記入ができたら黒板に張り出してもらう。</p> <p>★間違いを恐れず発表し、自由な発想を認めよう。</p>
<p>★質疑応答</p> <p>★授業まとめ</p> <p>○ワークシート記入</p> <p>★最後に本時の単元である「グラミンバンク」のムハマド・ユヌスの言葉「Humans are not born to suffer the misery of hunger and poverty. They suffer because we turn our heads away from this issue.」を紹介し、turn our heads away from「～から目を背ける」等の用法も説明しながら、偉人の名言に耳を傾けることの面白さを伝える。</p> <p>★自分の人生グラフと「オリジナル名言」を考えてくることを宿題にする。</p> <p>★名言は自分の座右の銘として志願理由書や面接時の志願動機に利用したり、自分を高める目標として活用できることを伝える。</p>	<p>書くこと/キャリアプランニング能力</p> <p>○名言の持つ力強さを利用して自分たちの将来に役立てることを意識する。</p>	<p>○言葉の持つ力強さを利用して自分たちの将来に役立てることを意識する。</p>	<p>○言葉の持つ力強さを利用して自分たちの将来に役立てることを意識する。</p>

コーディネーター 氏名: 新垣 道代
所属: キャリア教育マネジメント事業(沖縄県教育庁 県立学校教育課事業)
慈天閣高校配置コーディネーター

単に言葉を覚えるだけでなく、その背景にある生き方について理解させ自分の将来を考えるきっかけに





キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント3】月1回の「キャリア教育通信」発行

すぷらうと Vol.1 発行者：キャリア教育コーディネーター 島嶼 剛

HUB NOTEで自分のどのような力を伸ばしたいか考えよう！

持ちに合った新学期が始まります。新学期を迎えた皆さんはどのような気持ちでしょうか。しばらくの間は新しい生活様式を取り入れながら正しく予防をして学校生活を送りましょう。宮野座高校では、皆さんが自己実現(なりたい自分になる)をするために、卒業までに身に付けて欲しい6つの力を設定しました。これらは学校生活だけでなく、社会に出てからも必要な力です。高校生活を通じて見直し振り返り、自分の成長をHUB NOTEに記入していきます。教科学習以外に皆さんが成長を感じる場面がこれからたくさんあります。主な予定を記載しますので、これからの11ヶ月間で予定している活動を確認しながら、宮野座高校が目指す生徒像(6つの力)に近づけることができよう、自分なりの目標を立ててみましょう。

5月 入学式 1学期始業式 探究力エンターテイン HUB NOTE記入 (1学期を見通す)	6月 実力テスト 三者面談 生徒総会 LHR マジフェスに向けて	7月 校内開大会 1学期期末考査 リーダー研修 高卒生人公認 HUB NOTE記入 (1学期振り返り)	
8月 2学期始業式 HUB NOTE記入 (2学期を見通す)	9月 第2回 マジフェス 2学期実力テスト HUB NOTE記入 (マジフェスを見通す)	10月 キャリア教育講演会(1年) 1日休校学習 2学期中間考査 HUB NOTE記入 (マジフェス振り返り)	11月 指定 マラソン大会 2学期期末考査 防災訓練 性・エイズ特設授業
12月 2学期終業式 芸術鑑賞会 HUB NOTE記入 (2学期の振り返り)	1月 3学期始業式 卒業考査(3年) 入学入学共通テスト(3年) HUB NOTE記入 (3年一学期の振り返り 卒業準備振り返り)	2月 返別球技大会 学年末考査(1,2年) ワックス大会(1,2年)	3月 卒業式 3学期終了式 春季体験学習 HUB NOTE記入 (1,2年一学期の振り返り)

(行事はすべて予定。変更の可能性あります。)

キャリア教育通信 Vol.1 発行者：島嶼剛

キャリア教育コーディネーターとして
(2019)の役割！



2019年10月に本校で卒業した、外観
優美、トースの学生、同じく及川(1)から
キャリア教育コーディネーターとして本校に
は新たに2名就任いたしました。
スタッフです。
キャリア教育についての情報発信や他校との連携を強化して活動の充実を図ります。
行先は、本校のキャリアセンターになります。

しましろう！ キャリア教育とは！！

キャリア教育の定義

キャリア教育は、特定の活動や指導方法に限定
されるのではなく、様々な教育活動を通して実
感されるものである。

社会的・職業
能力を態度を
養う教育

キャリア教育の定義

キャリア教育とは、特定の活動や指導方法に限定されるのではなく、様々な教育活動を通して実感されるものである。

キャリア教育の定義



価値を見つけ、自分らしく生きられるようにする教育

イラストと同様にドラゴンボールを例えよう！



4 発行 キャリア教育コーディネーター 島嶼 剛

キャリア教育推進事業アンケートの結果報告

キャリア教育アンケートの結果報告です。アンケート結果は、宮野座高校のキャリア教育推進委員会にて発表いたします。
期：宮野座高校 生徒社

アンケートの結果、キャリア教育の重要性が認識されていることが、本校のキャリア教育推進委員会にて発表いたします。アンケート結果は、宮野座高校のキャリア教育推進委員会にて発表いたします。

	5月実施結果
キャリア教育について	84%
キャリア教育について理解が深まっている	70%
キャリア教育について理解が深まっている	73%
キャリア教育について理解が深まっている	66%
キャリア教育について理解が深まっている	82%
キャリア教育について理解が深まっている	81%
キャリア教育について理解が深まっている	57%

キャリア教育推進委員会にて、自分たちの成長を促すためにキャリア教育を推進している。キャリア教育推進委員会にて発表いたします。

	5月実施結果
キャリア教育について	85%
キャリア教育について理解が深まっている	81%
キャリア教育について理解が深まっている	69%
キャリア教育について理解が深まっている	73%

キャリア教育推進委員会にて、自分たちの成長を促すためにキャリア教育を推進している。キャリア教育推進委員会にて発表いたします。

	5月実施結果
キャリア教育について	67%
キャリア教育について理解が深まっている	59%
キャリア教育について理解が深まっている	63%
キャリア教育について理解が深まっている	56%
キャリア教育について理解が深まっている	71%
キャリア教育について理解が深まっている	63%
キャリア教育について理解が深まっている	55%



キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント4】教員研修の実施・保護者研修会の実施

推進のポイント

キャリア教育とは？

文部科学省では次のように定義しています。

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

(文部科学省 平成22年度第二次審議経過報告)

これ以外にも

「学校教育と社会に出てから、職業についてからの人生を結びつける教育」
「なぜ学校で勉強するのか、ということを社会の側から意味づけること」
「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」
など、様々な切り口から多様な定義が可能です。



※研修ファシリテーション養成研修の様子

教職員向けキャリア教育ベーシックセミナー開催

校内におけるキャリア教育理解を深める

コーディネーターはベーシックセミナーの研修ファシリテーションノウハウを取得している

各教科ごとプログラム開発勉強会の開催

各校で最もニーズの高い教科ごとのプログラム開発で、実践取組を推進

全教科のプログラムを開発する

キャリア教育で育成する力



キャリア教育のツボ①

「教え込むのではなく体験から学ぶ」

キャリア教育のツボ②

「関わり合いの中で成長する」

ダイアログとは

「ダイアログ」

Dialog (言葉・論理)
交流する ロゴス(言葉・論理)

「対話」と訳されますが「聞き合い」です。
ギリシア以来、哲学の基本的な作法で「ロゴスとロゴスを交流すること」という意味

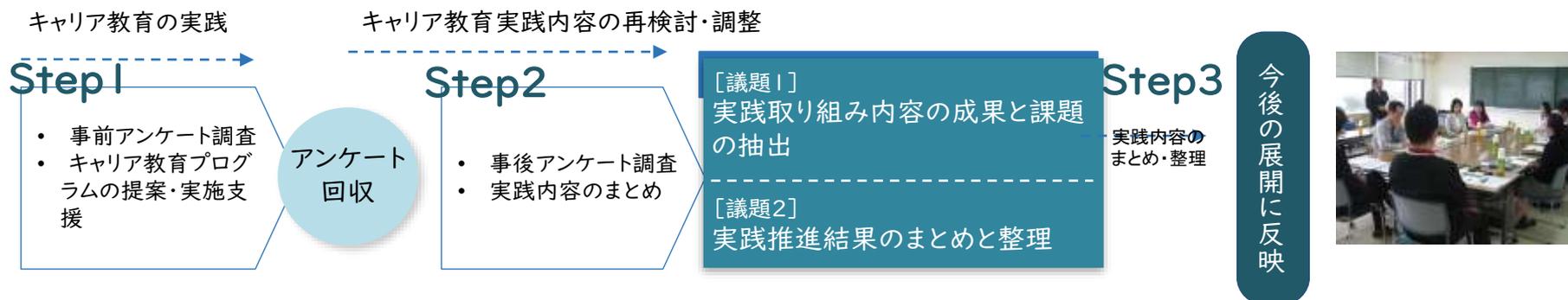
ロゴスとは「言葉」とか「論理」という意味ですので、お互いの意見を話し合い、聞き合うのが「対話、ダイアログ」ということとなります。

子どもたちの
目を輝かせるために
いま、私たち大人に
できることを。



キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント5】事前・事後アンケートより計画的な効果測定



委員会内容

議題1	<p>実践取り組み内容の成果と課題の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昨年度における評価検証の振り返り • 今年度の実践取り組みの目標を抽出 • 現場での課題と解決策
議題2	<p>実践推進結果のまとめと整理</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャリア教育コーディネータの育成検証 • 実証後の現状把握 • 教職員、学生の反応 • 実践前、実践後の変化検証

委員(予定)

	氏名	所属・組織
学校長	※団体へ依頼し 選定して頂く	沖縄県高等学校長協会
教職員	知念 秀明	沖縄県高等学校進路指導研究会事務局長 (南風原高校在籍)
保護者	※団体へ依頼し 選定して頂く	沖縄県高等学校PTA連合会
有識者	上地 幸市	学校法人沖縄大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 教授
産業界		那覇市商工会議所青年部 前会長
キャリア教育 コーディネーター	生重 幸恵	一般社団法人キャリア教育コーディネーター ネットワーク ワーク協議会代表理事
有識者		



キャリア教育コーディネーターの役割

【ポイント6】各学校での取組や指導案をまとめ配置校以外に展開

①教育者のテキストとして活用できる内容を掲載

事業内容の紹介に限らず、本事業で作成されたプログラムの事例集、またプログラム開発の考え方などを掲載。参考書としての活用を奨励し、キャリア教育の波及を目指す。

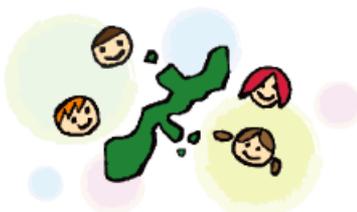


※イメージです

キャリア教育コーディネーター配置により、
高等学校のキャリア教育の更なる推進を図るプロジェクト

『キャリア教育マネジメント事業』

事業報告書 & 事例集



H25年度 沖縄県教育庁 県立学校教育課事業

有限会社オーシャン・トゥエンティワン

②事業報告書は事例集としてダウンロード出来るようにする

印刷物に限らずデータを配布することにより、本事業とキャリア教育の重要性についての周知を図る。



※イメージは弊社運用の「キャリア教育情報サイト」
※教育委員会等のHP活用が可能か事業開始後相談



具体的な取り組み内容について

今ある学校教育活動の宝を探し、つなげる

場

どんな場を
活用するか

教科の時間
総合的な探究の時間
インターンシップ
体育祭
文化祭
生徒会
掃除の時間
進路選択・・・

手法

どんな手法を
使うか

発問・ディスカッション
プレゼンテーション
フィールドワーク
ディベート
ストーリーテリング

視点

どのように力を
発揮させるか

課題に対応する力
・「目的」「目標」を意識させる。
・起きそうな課題や危険を予測させる。

自立・創造する力
・いつもより少し負荷がかかる場で、乗り越える経験をさせる。

社会参画・社会に貢献する力
・ひとりひとりに自分ごととして取り組ませる。



具体的な取り組み内容について

スタート

キャリア教育の 全体計画をつくる

以下の3つの視点を踏まえて、各学年において「いつ、何をすべきか」具体的に示して年間指導計画をつくる。

1. 実態をつかむ(現状をつかむ)

生徒の実態や学校・学科の特色、地域の実情などさまざまな視点から状況を把握します。

2. 目標を立てる

生徒に卒業時点で「何をできるようにさせたいか」を具体的に定めます。

3. 課題を設定する

「実態(現状)」と「目標」の差に注目し、キャリア教育を通して達成すべき課題を設定します。

STEP① 教育活動の内容を洗い出す

「〇〇教育」やインターンシップなど、学校にある既存の教育活動や行事などを洗い出してみる。その内容を振り返って個人のカリキュラムで「基礎的・汎用的能力」のうち、どの力の向上に役立っているか洗い出して確認してみます。

STEP② 異なる教育活動をつなぐ

洗い出された教育活動ひとつずつ独立した教育として考えるのではなくいくつかつなぎあわせて体系的・系統的な教育にできないか考えてみましょう。「我が校」で「今年度」「この生徒たち」に身に付けさせたい力を念願に、キャリア教育としてどんな内容をプラスしていくのか。焦点を絞っておきます。

STEP③ 足りない部分を補う教育活動にする

既存の教育や活動をつなぐだけでは、不十分な部分を補う「教育活動」をふかし、体系的なキャリア教育にしていきます。その際、以下の点について検討してみます。

- ◎学校の教育活動全体を通じ、つながりを持った計画となっていますか？
- ◎それぞれの教育活動の目標は明確になっていますか？
- ◎学年間の系統性が確保され、基礎的・汎用的能力が十分に育まれるものになっていますか？
- ◎実践を評価するための手だてや改善の方策は明示されていますか？
- ◎無理なく活動できる計画になっていますか？



具体的な取り組み内容について

1 生徒にとって 自らの活動や学びを振り返り、自分自身の学習成果、成長度を実感する。

2 教員・運営者にとって 結果を客観的に見つめ、次年度(次回)実施時の改善を明確にする。

教育目標

プログラムを通して、どのような人材に育てるのかを示すもの。プログラムによって、教育目標を絞り込んだり具体的にしていけることが可能です。

評価の観点

プログラムを経て、生徒の中でどんな変容が起こり、どのような成果が生まれたのか。下記3つの視点で評価を行います。

評価の方法

各評価の観点については、以下のような方法で評価を行います。多角的な評価が可能となります。

プログラムの教育目標

一人ひとりが、次の時代を切り拓く主人公であることを自覚し、自分と地域社会の「未来の在りたい姿」を描き行動できる人材を育成すること。という基本方針を元に、ひとつひとつのプログラム自体の教育目標を設定する。

意識の変容度

意識が高まったか、気づきが生まれたかなど、意識の変容を確認する。

行動の実現度

行動ができるようになったかを確認する。

能力の発揮度

行動の結果として、能力が定着し、成果につながっているのか確認する。

定量アンケート(自己評価)

プログラムの前後で実施し比較を行い、プログラムの効果を客観的な数値を図る。

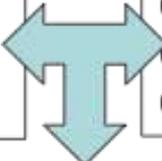
ポートフォリオ

毎回プログラム実施後に振り返りを行い、記入する。ファイルしていくことで時系列で生徒の細かな変化が見える。



具体的な取り組み内容について

() 学校の実態把握と目標設定

我が校の児童生徒の強み ○ ○ ○		我が校の児童生徒の弱み ○ ○ ○
我が校の児童生徒に身に付けさせたい力(～できる。～しようとしている。) ○ ○		
具体的な方策 ○ ○ ○		
我が校の教職員の強み ○		我が校の教職員の弱み ○
我が地域の強み ○		我が地域の弱み ○



具体的な取り組み内容について



[実態把握]

見通し

を立てられない生徒が多いのではないか？

指示がないと
行動できない

他力本願

目標を立てる
ことが苦手



意思決定する
ことが苦手

安易な選択

やりとけることが
できない

自ら考えることが
できない



具体的な取り組み内容について

研究主任の先生を中心にキャリア教育全体計画の作成



既存の学校行事を洗い出して
もう一度意味と目標を
考えてみよう!

事前事後の学習を充実させること
経験に向かう姿勢と体験自体の
意味がかわるのでは?

「防災教育」「環境教育」
「人権教育」・・・「〇〇教育」を
キャリア教育に。



具体的な取り組み内容について

キャリア教育年間指導計画の作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科												
行事	対面式 満足球技会	中間テスト 総体	期末テスト	SCP	夏休み		学園祭 中間テスト	期末テスト 新入生会		送別球技 学年初会	学年初会 校内報告会	高校入試
総合学習	プロジェクト 実践活動	プロジェクト 実践活動	プロジェクト 実践活動			活動・実践 実践活動	探究活動 実践活動	探究活動 実践活動	探究活動 実践活動	校則制定準備	探究活動 実践活動	
LHR (特活)	プロジェクト 実践活動	プロジェクト 実践活動	プロジェクト 実践活動			事前訪問	事後訪問			探究活動 実践活動	探究活動 実践活動	
評価												





具体的な取り組み内容について

キャリア教育コーディネーター配置高校以外への展開

●● 高校校内研修
キャリア教育
全体計画
年間計画

本日の予定表

- ① 説明
- ② ワーク①
- ③ 全体計画の作成
- ④ 年間指導計画の作成

キャリア教育の
全体計画を作ろう！



計画作成の流れ

1. 全体計画 (80分)
 - ①各学校の実態把握と目標設定
 - ②キャリア教育の全体目標
 - ③各学年のキャリア教育目標
 - ④メインとなる取り組みと学年決定
 - ⑤メインの活動&事前・事後活動計画

作成のポイント

1. キャリア教育全体目標の決定
→どのような大人になってほしいか？
2. 体験活動を定める。核となる学年を決め
その学年の年間指導計画を立てる。
3. 核となる体験活動の事前事後指導を決める。

全体計画ワークシート

注意すべき点

●生徒に身につけさせたい力
「～できる。」になってますか？
主語を定めた評価項目として使えますか？

例) 自ら考え、他者と協力して取り組むことができる。
生徒たちは、自ら考え、他者と協力して取り組むことができています。

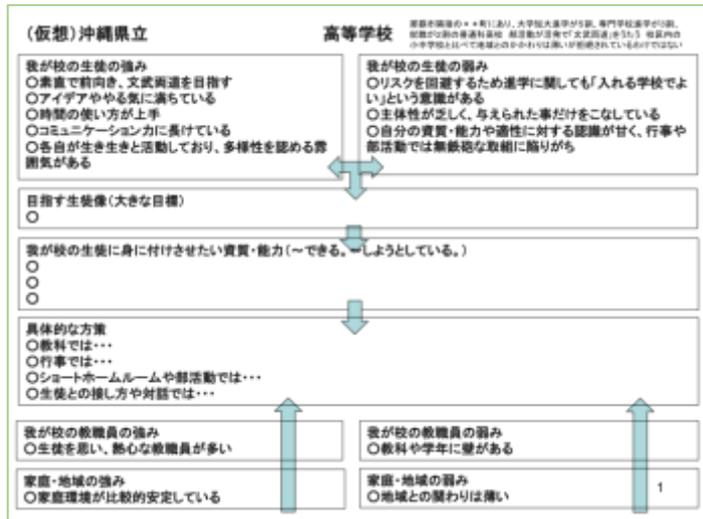
キャリア教育の
年間計画
を作ろう！





具体的な取り組み内容について

県立高等学校での研修会



「人間関係形成・社会形成能力」は、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができること、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力である。

例えば、他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップ等が挙げられる。

「自己理解・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。

例えば、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等が挙げられる。

基礎的・汎用的能力

「課題対応能力」は、仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。

例えば、情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等が挙げられる。

「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。

例えば、学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等が挙げられる。

資料 学級・ホームルーム活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現
 イー社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成（働くことについて考える）

なぜ働くのか

以下の「理由」例を参考に、あなた自身が「なぜ働くのか」の問いに回答するとしたらどの理由を重要視するのか、その割合を考えてみましょう。（複数選択、選択枝にないものの記入も可です。）

- 収入を得るため**
給与(お金)をもらうために働く
- 貯蓄するため**
将来に向けた蓄えをつくるために働く
- 税金を納めるため**
国民の義務として、国に税金を納めるために働く
- 新たなものを創るため**
世の中にない新しいものを生み出すために働く
- 自分を探るため**
自分がむいていることややりたいことを探るために働く
- 人脈をつくるため**
幅広い人間関係を構築するために働く
- 両親から自立するため**
一人前の大人として自立した生活を送るために働く
- 家族を養うため**
現在の家族や、将来の家族を養うために働く
- 働くのが常識だから**
学校を卒業したら働くのが当たり前だから働く
- 得意分野の追及のため**
自分にしかできない特技や専門性を高めるために働く
- 認められ、頼られるため**
家族や友人、仕事上の関係者等、周囲の人に認められたり、頼られたりするために働く
- 自由を得るため**
会社や仕事上の人間関係等に縛られず、自分のやりたいことをし続けるために働く
- 保障、安定を得るため**
社会人として、保険や年金等の社会保障を得られるようになるために働く
- 自己実現、夢の実現のため**
将来やりたいことを実現するために働く（独立や起業も含む）
- 社会に貢献するため**
社会に貢献しているという実感を得るために働く
- できることを広げるため**
今の自分ではできないことをできるようになり、自分の成長を感じるために働く
- 余暇を楽しむため**
プライベートを充実させるために働く
- 人の役に立つため**
誰かの役に立っていると実感するために働く



具体的な取り組み内容について

県立高等学校60校への展開

平成30年度		令和元年度		令和2年度	
1	宜野座高校	1	辺土名高校	1	宮古高校
2	石川高校	2	北山高校	2	八重山高校
3	嘉手納高校	3	本部高校	3	北部農林高校
4	北谷高校	4	名護高校	4	中部農林高校
5	北中城高校	5	前原高校	5	南部農林高校
6	普天間高校	6	与勝高校	6	八重山農業高校
7	宜野湾高校	7	読谷高校	7	美里工業高校
8	西原高校	8	具志川高校	8	浦添工業高校
9	浦添高校	9	美里高校	9	那覇工業高校
10	首里高校	10	コザ高校	10	沖縄工業高校
11	首里東	11	球陽高校	11	南部工業高校
12	開邦高校	12	那覇国際高校	12	宮古工業高校
13	那覇高校	13	陽明高校	13	名護商工高校
14	真和志高校	14	小禄高校	14	八重山商工高校
15	豊見城南高校	15	那覇西高校	15	具志川商業高校
16	南風原高校	16	豊見城高校	16	中部商業高校
17	知念高校	17	向陽高校	17	浦添商業高校
18	未来工科高校	18	糸満高校	18	沖縄水産高校
19	那覇商業高校	19	久米島高校	19	宮古総実高校
20	南部商業高校	20		20	





研究指定校3年間の実践事例

[研究目標の設定] 教育目標を土台としたテーマ設定
「キャリア・パスポート」を活用し自己理解を深める

地域と

豊富な地域資源を活用した
「地域に根ざし、地域と共に歩む学校」

連携し

魅力
ある

キャリア教育の方向性(研究計画)

研究主題: になりたい自分づくりのために見通しを持って行動できる生徒の育成
～「キャリア・パスポート」を用いた見通し・振り返る活動を通して～

目指す生徒像

- ①目標を立てる力 ②計画する力 ③実行する力 ④挑戦する力 ⑤振り返る力 ⑥改善する力

になりたい自分

- 教科学習
- 教科外活動
- 学校外活動

見通す

HUB
NOTE

ホームルーム活動

振り返る

HUB
NOTE

なれたかな?

- 教科学習
- 教科外活動
- 学校外活動

国語

社会

数学

理科

英語

芸術

保体

家庭

情報

総探

行事

学びのつながりシート及びワーキングポートフォリオ

キャリア教育の視点(目指す生徒像の視点)を入れた授業の実施

特別活動と総合的な探究の時間、授業をつなぐ年間計画

自分の将来を意識・考えて目標や計画を立てて行動できるようになる

●HUBNOTEの年間記入計画

- ①1年間を見通す (5月25日)
- ②1学期を見通す (5月25日)
- ③1学期を振り返る (7月31日)
- ④2学期を見通す (8月 日)

⑤マジフェスを見通す (9月 日)

⑥マジフェスを振り返る (10月 日)

⑦2学期を振り返る (12月 日)

⑧1年間を振り返る (3月19日)

⑨卒業年度を見通す (3年生のみ・6月)

⑩卒業年度を振り返る(3年生のみ・1月)

※探究のHUB NOTEは学期始め、年度末で記入

年間 8(3年のみ10)項目 記入

[仮説の設定①]

研究の目標設定

生徒が

「キャリア・パスポート」を活用し
見通し・振り返る活動をする

ことで…

なりたい自分に近づく

[変容する姿]

見通しをもって行動することが
できるようになる

年間5回、いま学んでいることが、将来とどうかかわっているのかを考える、自分の進路を意識し選択力を身に付けることができる

一年を見通し、振り返る 1・2・3年

【見通し】 記入日 年 月 日

今から1年後の私	どんなふうになりたいか	そのために今から何をするか
----------	-------------	---------------

○1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいかを考えよう。
 (高紙裏の「高校生のみなさんへ」の中にある「高校生活でさらに伸ばしてほしい能力」等を参考にしてください。)

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
<理由>	<理由>	<理由>	<理由>

【振り返り】 記入日 年 月 日

○1年間を振り返って、一番成長を実感できたことをまとめよう。

(数科学習) 成長を感じたこと	理由
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動など	
(学校外の活動) 地域活動・家庭内での役割・習い事など	

○1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。なりたい自分に近づいていますか。

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
1年間の振り返り			
3年間の振り返り			

○将来の自分自身を想像しよう。

今から1年後の私	どんなふうになりたいか	そのために今から何をするか
30歳の私		

() からのメッセージ

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

学期を見通し、振り返る 1・2・3年 1・2・3学期

【見通し】 記入日 年 月 日

○「一年を見通し、振り返る」で設定した伸ばしたい力をつけるために今学期の間に、特に心がけて取り組もう(自分なりに努力してみよう)と思っていることをまとめよう。

(数科学習) 何を意識して取り組むか?どのように取り組むか?	どの様な力がつくか?
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動など	
(学校外の活動) 地域活動・家庭内での役割・習い事など	

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

【振り返り】 記入日 年 月 日

○今学期を振り返って、自分なりに取り組んできたことや、よかったと思うことをまとめよう。

(数科学習) どの様に取り組んできたか?	どのような力がついたらと思うか?何ができるようになったか?
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動など	
(学校外の活動) 地域活動・家庭内での役割・習い事など	

先生からのメッセージ	先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと
------------	----------------------------

HUB NOTE記入事例（1年間を見通す）

一年を見通し、振り返る

2年生

記入日 2022年 月 日

今から1年後の私
進路が決定している。

名前の今から再考する
進路が決定している。

【1年の見通し】

○1年のはじめに、長野県高校で身に付けてほしいものの中から、自分のどんな力を伸ばしたいかを考えよう。
(進路選択が高校生活のみならず、その後の職業生活でも大切な力。個人能力と習性を整理して記入しよう)

① 目標を立てる力	② 計画する力	③ 実行する力	④ 挑戦する力	⑤ 振り返る力	⑥ 改善する力
○	○	○	○	○	○
<理由> 目標を立てることに 見合っている。	<理由> どうしたらいいか という点まで 見合っている。	<理由>	<理由> 自分で考えて 行動することに 見合っている。	<理由>	<理由>

【1年の振り返り】

○1年間を振り返って、一番成長を感じたことをまとめよう。

(教科学習) 成長を感じたこと

(教科外活動) 学校行事・仮活動・部活動等

(学校外の活動) 地域活動・家庭内での活動・習い事

○2年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。なりたい自分に近づいていますか。

① 目標を立てる力	② 計画する力	③ 実行する力	④ 挑戦する力	⑤ 振り返る力	⑥ 改善する力

○将来の自分自身を想像しよう。

今から1年後の私
30歳の私

どんなになりたいか

そのために今から何をやるか

からのメッセージ

先生からのメッセージ

先生からのメッセージを読んで感じたこと、考えたこと

4

【今から1年後の私】
どんなふうになっていたいのか？
進路が決定している。

【今から1年後の私】
そのために今から何をやるか？
いろいろな学校を調べる。

【自分の伸ばしたい力】
①目標を立てる力
目標がないとみつけにくいから。

【自分の伸ばしたい力】
②計画する力
どんなふうになりたいか考えないといけないから。

【自分の伸ばしたい力】
④挑戦する力
行動してみないとわからないこともあるから。

HUB NOTE記入事例（1学期を見通す）

1 学期を見通し、振り返る		2 年生 1 学期	
【見通し】 ○1年を見直し、振り返る」で設定した目標したと力をつけるために今学期の間に、特に心がけて取り組もう(自分なりに努力してみよう)と思っていることをまとめよう 記入日 〇 年 〇 月 〇 日			
(教科学習) 何を勉強して取り組むのか?どのように取り組むか?		どの様な力がつくか?	
まだ、どこの学校か決まっていなくて、先に決まると、悔いしないように評定を上の方を目指す。		9月までの学校生活に慣れる。	
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動等			
積極的に行き活動する。			
(学校外の活動) 地域活動・家庭内の役割・習い事			
お家の手伝いをして、お母さんの役にたてる。		内地に行って一人暮らし生活の家事ができる。	
先生からのメッセージ		先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと	
【振り返り】 ○今学期を振り返って、自分なりに取り組んできたことや、よかったと思うことをまとめよう。 記入日 年 月 日			
(教科学習) どの様に取り組んできたか?		どのような力がついたらと思うか?何ができるようになったか?	
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動等			
(学校外の活動) 地域活動・家庭内の役割・習い事			
先生からのメッセージ		先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと	

【教科学習】

まだ、どこの学校か決まっていなから、急に決まって後悔しないように評定を上の方を目指す。

【どんな力がつくか】

行きたい学校にいける。

【教科外活動】

積極的に行動する。

【どんな力がつくか】

【学校外の活動】

おうちのお手伝いをして少しでもお母さんの役に立つ。

【どんな力がつくか】

内地に行って一人暮らしをした時に家事ができる。



三者面談では保護者からのコメントも

三者面談時に生徒のHUB NOTEを見てもらい、保護者からみなさんへのコメントを付箋紙に書いてもらいましたね、どんな気持ちでしたか？

ありがとう
頑張るよ!

〇〇さんが
目標にして
いることです。

こんなことを
考えていたん
ですね。成長
しています。



保護者は皆さんの応援団です

高校生になり、保護者と話すことより、友達と話すことが多くなったという人も多いと思います。でも、保護者は皆さんをちゃんとみてくれていますよ。そして、時にはアドバイスもしてくれます。

進路が決まっていると目標に向かいやすいのでなりたいものやりたい事を見つけてください。それに向かって頑張れると思います。応援しているよ。 母

進路が決まっていると
目標に向かいやすいので
なりたいものややりたい事を
見つけてください。それ
に向かって頑張れると思
います。応援しているよ。 母

すごく良い取り組みだと思います。日々の成長、自分も周りの人も笑顔にできる力を身につけてほしいです。一歩ずつファイト！

すごく良い取り組みだと思います。日々の成長、自分も周りの人も笑顔にできる力を身につけてほしいです。一歩ずつファイト！



研究指定校3年間の実践事例

キャリア教育と総合的な探究の時間の結びつき



リアルな課題に取り組み、解決策を探ること。 課題に取り組む姿勢や手法を身につける。

長期的に取り組む、何度も繰り返すことで課題に向かう姿勢や能力を身につける。

長期的キャリア教育の時間が確保できる場合は、「課題解決プログラム型キャリア教育」のプログラムが実施できます。いわゆる探究学習として、学校現場で以前から定着しているのではないのでしょうか。課題設定（発見）から情報収集・整理・分析、企画提案・実行から評価に至るプロセスは、全く同じですが、

グループやテーマが異なれば、生徒にとっては全く違う経験学べになります。課題解決に取り組む姿勢や手法は、このプロセスを何度も繰り返すことにより、少しずつ身につけていきます。キャリア教育で育成したい「課題に対応する力」や「自立・創造する力」を育てていきます。

課題設定・発見

情報収集・分析

情報収集・分析

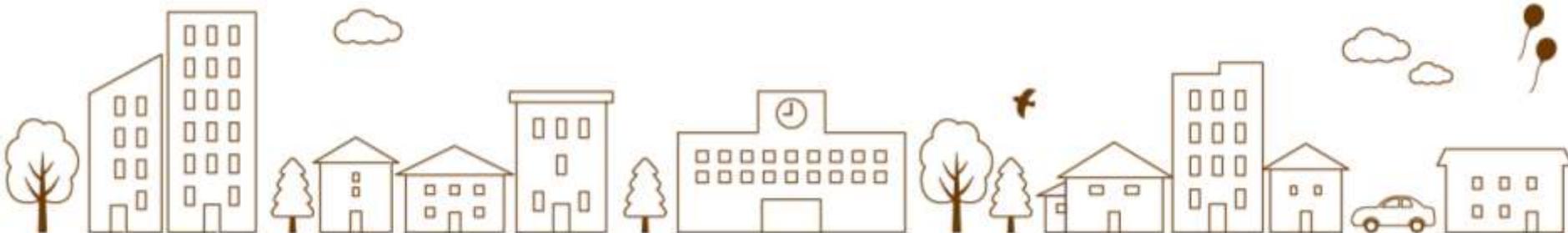
情報収集・分析

取り組む上で必要となる課題の情報等を与える。取り組みに対するモチベーションをあげたり、チームビルディングを行うなどの導入を行う。

課題解決の方向性をチームで考え、自分たちで動き出せる。具体的に動きながら、自分の力を解決する経験が大切。

自分の力で結果を生み出す。普段の自分達の限界を超えるために、中間発表などで、精度をあげる経験も有効。

発表会や振り返りなどで、この活動自体を振り返る。チームや自分がもつ力や活動を通しての成長に気づかせる。

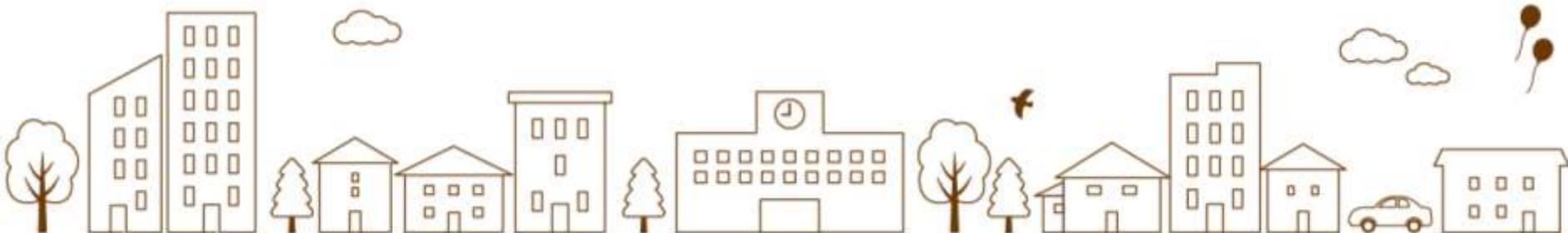
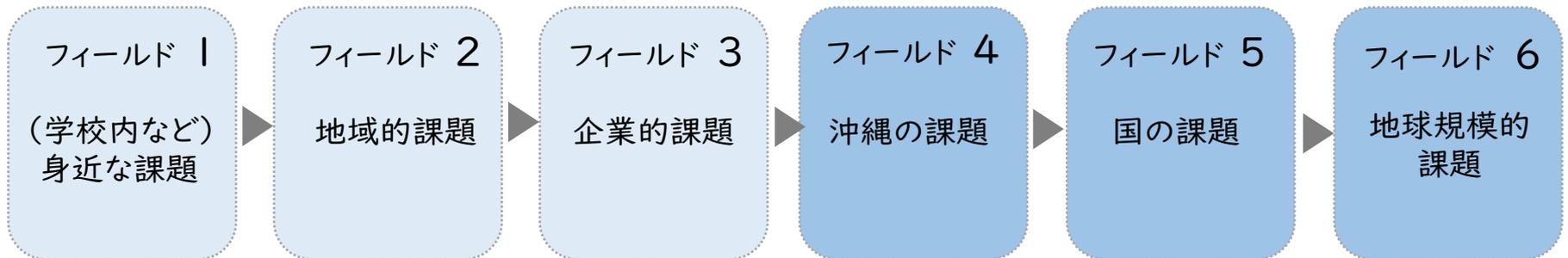


リアルな課題に取り組み、解決策を探ること。 課題に取り組む姿勢や手法を身につける。

課題のテーマを変えていくことにより、視野が広がり社会参画・貢献の意識を醸成できます。

課題のテーマを生徒の興味関心を持ちやすいものにするこ
とで、より熱心に取り組むことができるでしょう。そのため、リアル
であることや、発達段階にあったテーマ設定が大切です。
学校内の身近な問題から地球規模の問題まで、段階的にあげ
ていくことができると視野の広がりを誘導していくことができま
す。

また、課題解決を「誰かのために、何かのために」という視点
を持たせることで、社会に参画したり貢献する意識を醸成するこ
とができます。本来、働くとは自分の好き嫌いに関係なく「誰か
のためになることをする」「誰かの課題に向き合ってあげる」こ
と。このプロセスは仕事の疑似体験にもなります。



緊張感が生徒の力を引き出す。

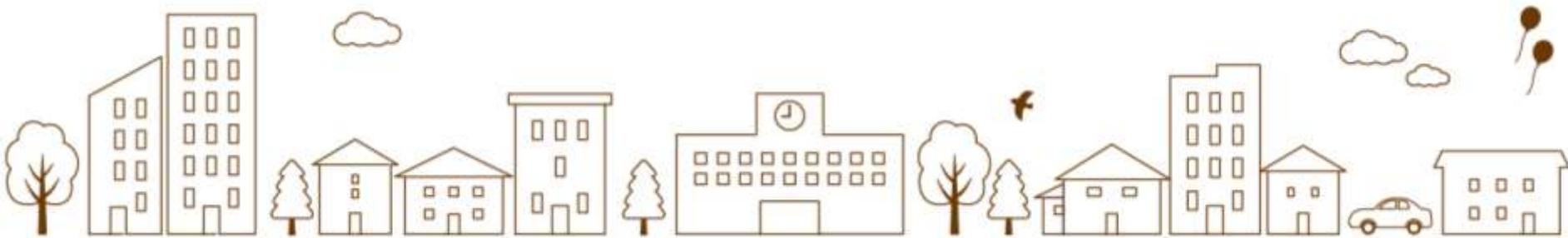
いつもより少し負荷がかかる仕掛けそこから立ち上がり成功していく経験をさせる。

プログラムの中にキャリア教育的視点をいれることで、より育成したい力を伸ばすことができます。例えば、知り合いではない人と協働したり、社会人の前で発表することなどは、生徒にとって日常よりも少し負荷がかかることです。なんとなく日常と違って居心地が悪かったり、いつもと同じコミュニケーションでは通じない中で、生徒は小さな失敗や挫折をします。

けれども、そこでもうひと踏ん張りしていくことを教員や大人たちが支援することで彼らは達成感と小さな自信をつけていきます。そうすると次はもう少し負荷がかかる場に自ら飛び込んでいけます。「課題解決は面白い」と実感できれば社会に出てからも課題から逃げずに立ち向かっていけるはずで。

◆地域の課題に対する解決策を策定するミッションプログラム例

環境設定	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">フィールド</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➔</div> <div>地域的課題</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">テーマ</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➔</div> <div>地域の身近な課題</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">関わる大人</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➔</div> <div>地域住民・地域行政</div> </div>
授業概要	身近な地域に存在する課題に対してチームで解決案を企画し、地域住民や地域行政に対して提案を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が取り巻く環境・できることを自分ごととして考え、行動することができる ・問題解決プロセス・手法を理解することができる ・身近な様々な人や地域社会との関係の中に自分がいることに気づく。





研究指定校3年間の実践事例

キャリア教育と総合的な探究の時間の結びつき

【1年生】 地域探究



■ 実社会や実生活における問題について、生徒が自ら課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ 表現・まとめ

■ 自分の考えや、課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される

【2年生】 職業探究



■ 1年生で設定した課題から、職業と結び付け、生徒自らが課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ 表現・まとめ

■ 他者の考えや、課題により自分の考えが新たに更新され、探究の過程が繰り返される

【3年生】 進路探究



■ 2年生で設定した課題から、その問題を解決するためにはどのような学問が結つか自分の進路と重ねて考える。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ 表現・まとめ

■ 自分の考えや、課題が進路実現に向けた手立てとなる。

中間発表では、役割分担の必要性に
気付くことができました。

俺たちも
役に立ってるっ
て(^~^)

俺たち男子二人
は絵のセンスも
ないし…
役に立ってない
よな…

生徒同士の相互評価で
自己肯定感が上がっています。

そんなことないよ。

表の時、こ
パスター持っ
れてありがとう!

私たちの意見を
尊重してくれて
ありがとうね。

異なるクラスの合同チームの中で
生徒は「自分ができる役割」を見付けました

中間発表では、ポスターの後ろに隠れていた男子二人が…

**中間発表からわずか3日。
自分の役割を見付けると
生徒は成長することがわかりました。**

みんなで考えた「魅力だらけの田舎旅」を
発表し、みごと、「銅賞を受賞」しました。



研究指定校3年間の実践事例

卒業した3年生からのメッセージ





研究指定校3年間の実践事例

1年生は、自分たちの経験を活かし新1年生へ手紙を書きたいと言い始め

メッセージは封筒に入れ、名前を記入

新1年〇組生へ

封筒表面
(名前は記入しません)

封筒裏面
(クラスと名前を記入)

1年〇組 沖縄 花子



研究指定校3年間の実践事例

入学式の準備やは新2年生を中心に……

Welcomeメッセージを記入しよう！

1年間を見通す
1年を振り返る
を確認しながら
アドバイスを
記入しましょう！

1年前、不安に
思っていたことや
楽しみに思っ
ていたことなど
を記入しよう！

高校1年生は
どんな学校生活
が待っています
か？





研究指定校3年間の実践事例

新1年生、2年生の担任は「キャリア・パスポート」の活用を話し合い・・・

みなさんのメッセージは1年生の羅針盤に

高校1年生 学年初め

名 前：

○今の自分をみつめて

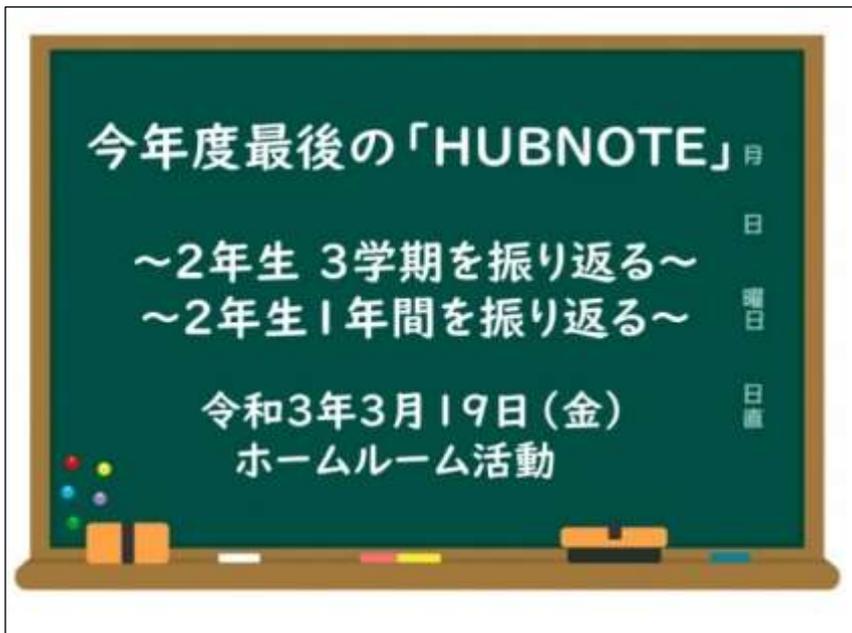
記入日： 年 月 日

今の自分（好きなこと・得意なこと・得意なもの・頑張っていることなど）

私の将来・目標（こんな大人になりたい）

そのために身に付けたいと思う力





卒業した3年生からのメッセージ



令和4年3月1日に卒業の日を迎える皆さん



1年後の自分を想像し手紙を書こう

1年後の私へ

2021年3月19日 1年前の私より



研究指定校3年間の実践事例

生徒の成長は地域・保護者とも共有



【18歳の私へ】成人年齢が18歳に引き下げられることを想定して作成したページです。成長を実感し大人としての自覚を。

18歳の私へ ～小学校1年から小学校6年までの6年間～

学校名 _____ 名前 _____ 年 月 日

1. 小学校6年間でできるようになったこと、がんばったことを18歳の私へ伝えよう

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生



2. 6年間の成長（できるようになったこと、がんばったこと）をふり振り返り、自分のよいところを書きましょう

先生からのメッセージ

家の人などからのメッセージ

18歳の私へ～中学校3年間の振り返りとこれからへ～

() 中学校・氏名 () ・記入日: 年 月 日

○中学校3年間での自分自身の頑張りが成長・よさ等について振り返ります。

① 3年間で振り返って、頑張ったこと・学んだことを書いてみましょう。

(1年生)

(2年生)

(3年生)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

② 3年間を通して、成長したこと・できるようになったことを書いてみましょう。

③ あなたの「よさ」や「前向きになれること」を書いてみましょう。

※得意なこと・好きなこと・興味のあること・頑張れることなど

④ あなたの「よさ」を今後、どう生かし、どのように成長していきたいですか。

先生からのメッセージ

保護者などからのメッセージ

メッセージを読んで気づいたこと・考えたこと



研究指定校3年間の実践事例

各教科や「キャリア・パスポート」の活用 方法をまとめ他校でも活用

令和2年度キャリア教育支援事業
「キャリア・パスポート」実践事例集

Review

学びのプロセスが見える!「キャリア・



沖縄県教育庁県立学

沖縄県教育庁県立学校教育課
令和3年度キャリア教育推進事業

沖縄県キャリア教育 授業改善プログラム集 Vol.1



沖縄県教育庁県立学校教育課

沖縄県教育庁県立学校教育課
令和3年度キャリア教育推進事業

沖縄県キャリア教育 授業改善プログラム集 Vol.2



沖縄県教育庁県立学校教育課



研究指定校3年間の実践事例

セキュリティ保護なし | www.edu-c.open.ed.jp/career-passport.html

令和2年度キャリア教育推進事業
カリキュラム・マネジメント研修会

教育情報共有
システム

教育情報共有
システム(特支版)

夏期短期研修

OPEN EV
Okinawa Prefecture Education Network Education Videos
沖縄県教育委員会 教育支援ビデオ

平和学習
ポータルサイト

琉球文化アーカイブ
Ryūkyū Cultural Archives

The Peace Learning Archive in
OKINAWA
沖縄平和学習アーカイブ

まなびネット
おきなわ
みんなが
学ぼう！
生涯学習

関係機関等リンク

沖縄県版「キャリア・パスポート」動画一覧

沖縄県版「キャリア・パスポート」の動画はOPENアカウントを所持している方のみ閲覧可能となります。

アカウントを訪ねられた際は、[OPENアカウント](#)でログインしてください。

3月30日(火) 配信 令和2年度 キャリア教育推進事業 研究発表

「なりたい自分づくりのために見通しをもって行動できる生徒の育成」
～「キャリア・パスポート」を用いた見通し・振り返る活動を通して～

- ・ Introduction [研究の背景について](#)
- ・ Chapter 1 [「キャリア・パスポート」準備](#)
- ・ Chapter 2 [「キャリア・パスポート」実践](#)
- ・ Chapter 3 [「キャリア・パスポート」活用](#)
- ・ Chapter 4 [総合的な探究の時間 実践](#)
- ・ Chapter 5 [研究の評価](#)
- ・ Chapter 6 [令和3年度に向けての改善と準備](#)

8月17日(月) 配信 地区講座動画

- ・ [新学習指導要領におけるキャリア教育](#)
- ・ [キャリア教育全体計画・年間計画](#)
- ・ [キャリア教育の実践について](#)

あ せ ぐ

ここに入力して検索

16:22
2024/01/22

ご清聴ありがとうございました

